

1 事業室のミッション

学内外での教育・研究・診療・業務に関する連絡の円滑化、情報共有の活性化のための基盤サービスを提供する。全構成員へ公的なメールアドレスを付与し、基本的な電子メールの利用環境を提供する。マイクロソフトのクラウドアプリケーションサービスである Microsoft 365 を構成員が円滑に利用できるようにするために、環境整備・運用、サービス検証を行う。必携 PC に必要なオフィススイート製品である Microsoft 365 Apps を学生・教職員に提供する。

2 事業計画等

(1) 全学基本メール

・ サービス内容

Microsoft 365 のメールサービスである Exchange Online を利用して、九州大学の職員用 SS0-KID 所有者、ならびに学生用 SS0-KID 所有学生全員にメールアドレスを付与し、基本的なメール利用環境を提供する。利用者窓口を設け、本サービスに関する利用者支援を行う。

・ 対象

全職員および九州大学で公的な活動を行うため教職員用 SS0-KID を発行された人、ならびに学生用 SS0-KID 所有者（学生・非正課生）。

・ 将来ビジョンと 2021 年度の計画

Exchange Online を利用して安定的にメールサービスを提供できるよう努める。Microsoft 365 Education A3 と Office 365 Advanced Threat Protection のセキュリティ機能について運用方法を検討し、活用する。生涯メールサービスの迷惑メール対策に引き続き協力する。2021 年後半に延期された Exchange Online の基本認証非推奨への変更について、Becky! や AL-Mail 等利用者は多いが機能更新がない古いメールクライアントが利用不能となるため、詳細判明後に利用者への周知を行い、ウェブメールや新しいクライアントへの移行を促す。メールサーバ集約タスクフォースの検討に応じて、部局ドメインメールの受け入れに対応する。

・ 特記事項

なし

(2) ファイル共有システム

・ サービス内容

ウェブ経由でファイルのやり取りを行える全学向けサービスを提供する。ID とパスワードによる利用者認証、ダウンロード用パスワードの設定で高いセキュリティを確保できる。これによりメールにファイルを添付する必要をなくし、情報共有の活性化を促進しながらも、メールサーバのディスク利用状態が悪化する事態を回避

できる。また機密性を要するファイルの安心・安全な取扱や大容量，多数のファイルの容易な交換を可能にするための職員向けサービスを提供する。

- ・ 対象

全 SS0-KID 所有者（職員用・学生用）。

- ・ 将来ビジョンと 2021 年度の計画

職員向けシステムは個人情報等秘匿性の高い情報の取扱を支援するため仮想ドライブソフト（Proself Disk）の利用促進を進める。職員向けシステムは保存容量の増大により維持費用が高くなっていることから、ファイル共有サーバのクラウド利用について再検討する。また Microsoft 365 で提供されている OneDrive for Business との使い分けについて検討する。組織内でのファイル共有については SharePoint Online への移行を促す。

- ・ 特記事項

なし。

(3) 学内構成員への一斉連絡機能

- ・ サービス内容

大学の全構成員（職員，学生）へ定型連絡文を送付するための一斉同報システムを運用する。

- ・ 将来ビジョンと 2021 年度の計画

学内構成員への一斉連絡機能は，総務部総務課が運用する安否確認とは別に情報統括本部として必要な機能であるため，本事業室で引き続き運用する。

- ・ 特記事項

なし。

(4) Microsoft 365 利用者のアカウント管理

- ・ サービス内容

Microsoft 365 の利用者登録，ライセンス割り当てなど，Microsoft 365 の利用，および，Microsoft 365 Apps の提供に必要なアカウント管理を行う。構成員情報は，認証基盤事業室の全学共通 ID 管理システムと連携し，SS0-KID による認証環境を提供する。

- ・ 対象

全 SS0-KID 所有者

- ・ 将来ビジョンと 2021 年度の計画

全学共通 ID 管理システムと連携し，基本メールアドレスを Microsoft 365 の利用者識別名として利用者管理を行い，Active Directory フェデレーションサービスを用いた SS0-KID による認証環境を提供する。利用者のサービスアクセス権限を適切に管理する。Azure AD Premium P2 を活用した円滑な多要素認証(MFA)の学内展開方法を検討し、試行運用を目指す。

- ・ 特記事項

なし。

(5) Microsoft 365 の機能活用に関する事項

・ サービス内容

関係事業室と協力し、Microsoft 365 の以下の機能活用に向けた整備，検証，運用，および広報活動を行う。

① Microsoft 365 機能（OneDrive for Business, SharePoint, Teams 他）の活用

② Microsoft 365 の利用者ポータルページの整備・運用，マニュアルの整備

③ Microsoft 365 関係システムの整備（機能設計を含む）

・ 対象

全構成員（職員，学生，名誉教授）

※一部サービスについては，SSO-KID が「a」で始まる申請者（名誉教授を除く）は対象外

・ 将来ビジョンと 2021 年度の計画

① Microsoft 365 の各種アプリケーションサービス（SharePoint 等）の利用促進を図る。マイクロソフトによるサービス仕様変更，新機能追加に対応する。

② 機密情報および個人情報をよりセキュアに保護するために，Microsoft 365 の認証機能による暗号化機能（Azure Rights Management: Azure RMS）の利用促進を図る。

・ 特記事項

なし。

3 備考

なし